

平成26年度

機械設計技術者試験

1級 試験問題Ⅲ

第3時限 15：30～17：00（90分）

◆ 小論文 ◆

平成26年11月16日実施

主催：一般社団法人 日本機械設計工業会

[小論文課題]

次の課題の中から1つを選び、機械設計技術者の立場で、技術面、管理運営面、後進の教育面の視点から、その対応策について1000～1500字にまとめよ。

1. 効果的な差別化戦略の実現に向けて

競争基本戦略の一つに差別化(差異化)戦略がある。製品やサービスを他社と異なるものにして競争優位を確保しようとする戦略である。差別化あるいは差異化してもすぐに模倣されるものなら差別化の効果を発揮できない。身近な自社の設計部門の事例を踏まえて、効果的な差別化戦略を実現するための方策について、あなたの考えを述べなさい。

2. 製品設計業務の分業化・専門化に伴う情報の共有化について

製品に対するユーザー要求の多様化と、それに伴う製品の機能や構造の複雑化に伴い、製品設計業務の分業化・専門化が一層進んでいる。このため製品設計における各担当者間で製品情報を共有することが難しくなっている。このことが、手戻りの発生や製品自体の品質低減に繋がり、製造業における大きな課題となっている。こうした課題にどのように対処していくべきか、あなたの考えを述べなさい。

3. 新技術を取り込む際の評価・管理について

現代は、技術が社会に与える影響が益々大きくなっている。その技術の活用の仕方によっては、目標と異なる方向に導いたり、弊害をもたらすような可能性も出てくる。それゆえ新製品の企画立案と開発に関しては、慎重な姿勢が要求される。取り込む技術をどのように評価・管理し、成果を上げていくか、どのような捉え方をしていくべきか、あなたの考えを述べなさい。